

---

# 大人のための異文童話集14 爪～真夏の夜の夢

天野久遠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大人のための異文童話集14 爪ゝ真夏の夜の夢

### 【Nコード】

N4430M

### 【作者名】

天野久遠

### 【あらすじ】

蒸し暑い夏の夜、そんなときには不思議な夢を見ることがあります。

それは現実だったのか、それとも本当に夢だったのか…。

どちらともつかない狭間で、ただ脳裏に残った記憶だけが現実として蘇ることが。

夏の黄昏時の雨は勢いよく、轟く雷鳴と眩いばかりの雷光を連れてやって来る。

それは突然にやってきて、通り縋りのように過ぎて行く。

後に残した雲たちは千切れ千切れ。

既に忘却の彼方へと追いやったが如く、遠き山々の山頂を越えて漂うばかり。

夜空は澄んで、いつもよりは大きめの月の姿を悠久と映し出す。

そうした空を眺めつつ見つめる私の指。

右手の指の爪ばかりがよく伸びる。

左手の指の爪はそれほどでもないというのに、何故か右の爪ばかり。

きつと

いつも右腕で腕枕をして、残されてしまった自由な左手はいつでも、いつまでも、

……隅々までを触れられる。

だから

爪など伸びてると、ふとした思いの交情と止め処なく震える胸の高鳴りで

愛おしい私の、大切なあなたの、

……傷つけてしまう。

それで

私の左手の指の爪が勝手に伸びるのを押さえては、無理で意固地な思い遣りを示そうとしている。

柔らかでなめらかに滑る肌への憶いを、この指先に秘めて。

愛おしき小さな真珠

今宵見たような月明りに照らされて艶やかに輝くときを、まだ夢見ているだろうか。

恋しき潤いたる瞳

また集まりし雲に朧ゆく有明月のように、泡沫なる想いと褪せていつてしまったのだろうか。

追憶の中を巡るだけの思いに、もう、応えをくれるものもない。  
それなのに必死で  
爪の成長を止めようとするこの左手の指の切なきことか。

毎夜の暑き夢の中

黄昏に見た雲の連なりを駆け巡る稲妻でも掴かまんと  
自由な左手は今夜もまた

……彷徨つように探す。

なんとも蒸し暑い夜。

突然に私の前に現れ出て、大きく膨らんだ期待を希望へ変えて  
徐々に徐々に、淡く淡く、

……孤独な絶望感へと渡す。

記憶に残るサムサラの香りと、左指に残るその潤いに惹かれて、伸びることを止めた爪。

お前がそうして待つものとは、熱さに魔されて見た夢だったのかもしれない。

本当は初めから相手などいなかった……自分に都合のいい夢。

（後書き）

BGMには天野月子の“天龍”を聴いて欲しいですね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4430m/>

---

大人のための異文童話集14 爪～真夏の夜の夢

2010年10月8日13時35分発行